



神奈川県つながりまちづくり学校2025 第4講 「活動をカタチにする！刺激する！磨く！」

日時:2026年1月18日(日)13時~16時

会場:かなーちえ

(神奈川県地域子育て支援拠点)

総合ファシリテータ:

NPO 法人親がめ塚原泉氏

■あいさつ

■アイスブレイク「私のアクションプラン予定」

■講義「神奈川県社会福祉協議会について」

「区民活動支援センターについて」

「神奈川区の魅力と課題」

■グループワーク「私のアクションプラン(予定)意見交換」

■今のアクションプラン！1分間発表！

■グループ対話「まち学、今日までをふりかえって」

■保育1名(1歳)保育協力者2名

■ アイスブレイク♪ ココロとカラダをほぐし、互いを知り合う

第4講は、これまでの期間に考えた、自分のアクションプランについて20分間のうちにできるだけたくさんの人と語り合いました♪

■ 講義

『神奈川県社会福祉協議会について』

◆スピーカー:神奈川県社会福祉協議会事務局長 田中氏

・神奈川県社会福祉協議会は、反町公園横のはーと友1階に立地

・社会福祉協議会の領域は「福祉」で困っている人の直接的支援というイメージがあるが、「福祉」=地域のしあわせという広い意味で活動しており、地域活動の分野では、中間支援組織としての役割を担っている

中間支援組織:人・モノ・場・情報など社会資源をつなぐ調整役

できること:ボランティア募集、会議室・印刷機等貸し出し、「神奈川県ふれあい助成金」等による支援、チラシ配架等周知協力・地域ケアプラザとの連携

得意なこと:地域・地元住民とのコネクション、地元の人々の理解・周知・協力等のつなぎ役
企業の社会貢献活動の申し出とのつなぎ役

『区民活動支援センターについて』

◆スピーカー:神奈川県地域振興課 富田氏

区民活動支援センターは、区役所5階に立地しており、4人のコーディネータが在席。生涯学習や趣味・特技をいかした活動等、福祉保健分野に限定されない活動に対する応援が強い。

助っ人BANK:地域の方々が持つ特技・技術・経験・知識を活かし、ボランティアとして地域に強力いただく制度。登録団体向けに、学びや交流のイベントを年数回行っており、地域活動者間のつながりづくりを実施。

- ・様々な人が町の事を考え良くしようとしている。
- ・たまたまのタイミングで、受講いたしました。流れに乗って、受講して良かったです。同期が居ること。様々なメンバーの得意が相互で助け合えるご縁となる心強さ。
- ・異なる年代、多職種の方々と意見を交換できる環境は、大学とは違う学びができるため、とても魅力的でした。
- ・毎回志高い人に会えて刺激を受けます。

② 収穫できたこと

- ・仕事関係から、このまちづくり学校を教えてもらいましたが、何をしていきたいのか、地域貢献・地域活動が形になってきたこと
- ・地域は地域の方々に作りあげていくものなのだと実感した。グループを運営するコツを教えてもらえた。
- ・みなさんと話をしているうちに、足りないことが補足できたりアイデアをもらったり、自分のアイデアのパズルが1つ1つはまってきました。
- ・言葉にしたら次につながるコミュニティが広がるということ。言葉にしてアウトプットすることで“自分ってこんなこと思ってるんだ!”という再発見できる
- ・みなさんと知り合えたことが一番の収穫!
- ・仲間と、一緒に楽しく考えるチカラ。そして具現化させていくルートの組み立てのサポート体制。
- ・皆のアイデアを少しずつでも実践出来るように協力できたらと思うようになった。

■ ふり返りシート（受講生の声）

① 本日の気づき・学び

- ・神奈川区の現状を数字で見ることが出来て良かった。
- ・中間支援組織や相談にのって下さるところが沢山あって、どこを頼ったら良いのが分からなくなってしまった・・・
- ・頭に思いがいている内容が対話することによって違う形になっていきました。人との対話の重要性を感じました。
- ・まち学に来た人が協力者で参加者で先生で、OG、OBも同じで、人とつなげてくれる事が本当にありがたいです。
- ・中間支援組織という大きな味方がいることを知れた。
- ・皆さんのアクションプランを発表しあう事で自分には考えられなかった知見を広げられた!
- ・アクションプランを、みなさんから聞く中で、1人1人軸となる領域があるなと感じました。自分にとっての軸は何かと考えるきっかけになりました。

② 本日の気づき・学びを、今後アクションプランにどういかしたいか

- ・人と相談しながら進めることを意識して行う。
- ・皆さんから得た意見や感想を5講の発表や今後の活動に十分にしていきたい。
- ・現時点でアクションプランは大まかにしか決まっていないので皆さんに教えていただいた事をふまえて、ブラッシュアップしていきたい。
- ・神奈川区には支援をサポートしている機関があることをしらなかった。とても、はげみになりました。
- ・中間支援組織の力をうまく活用したい。